

日本溶接協会創立50周年を祝して



工業技術院
院長 梶村 皓三

社団法人 日本溶接協会の創立 50 周年を衷心よりお慶び申し上げます。

社団法人日本溶接協会は昭和24年に戦後の産業復興を目的に先達によって創立されて以来、関係業界との緊密な連携の下に、溶接関係 JIS の規格原案作成、溶接接合技術の研究、調査、溶接に関する技術の認定・認証、教育等の事業を活発に推進されるとともに、貴会会長が世界溶接学会会長に就任される等、我が国の溶接接合技術の進歩向上と国際交流に多大な貢献をされてこられました。

ところで、最近10年は国内外でめまぐるしい変化を見せており、国際情勢を見ますと、EU 統合、WTO / TBT 協定の発効など、世界経済全体の統合に益々標準化が重要になる一方、国内ではバブル崩壊の影響が残る中、阪神大震災の発生等接合技術を含めた構造物に対する信頼性の確保が必要となっています。

溶接界においては、レーザ溶接の国内外での普及やマイクロソルダリングを始めとする微細融接技術、建築物に利用される高入熱溶接材料の開発、溶接管理における溶接管理技術者の確立等、広範な産業分野における産業基盤として各種整備を行うことが求められています。

こうした中、貴協会が、国際化、標準化、技術開発の重点化を図るべく体制構築を行い、溶接接合技術の分野における中心的役割を担い、溶接界が益々隆盛に向かいつつあることは、21 世紀の我が国溶接界にとって、誠に意義深いことであり、関係各位の弛みのない精進と多年にわたる努力に対して深く敬意を表します。

ここに、創立後50年間の貴会の輝かしい業績と溶接界の発展を心からお祝い申し上げますとともに、貴協会が今後とも溶接界のより一層の発展に寄与され、広く産業界の期待に応えられるよう希望して祝辞とさせていただきます。

日本溶接協会創立50周年を祝して

貴社団法人日本溶接協会には創立50周年を迎えられ、ますますご隆盛の気運にありますことを慶び、心からお祝い申し上げます。

この機会に社団法人日本溶接協会および産報出版(株)が外部に50年の長きにわたって情報を発信し続けてきました国際ウエルディングショーの主要なテーマを以下に列挙してみることにします。

- ・「溶接週間 優秀溶接機器推奨展示実演会」(運輸省技術研究所)1953(昭和28)年
- ・「伸びゆく造船総合展覧会」と同時開催(東京都立産業会館)1956(昭和31)年
- ・「動く溶接総合展」(大阪市)1957(昭和32)年
- ・「非破壊試験と溶接の総合展」(国際貿易センター3号館)1959(昭和35)年
- ・「ジャパンウエルディングショー」(東京国際貿易センター)1961(昭和36)年
- ・「'65 ジャパンウエルディングショー」(大阪国際見本市港会場)1965(昭和40)年
- ・「'71 国際ウエルディングショー：実用期を迎えた自動化・省力化機器」
(大阪国際見本市港会場)1971(昭和46)年

- ・「世界に伸ばそう新しい溶接」(東京国際貿易センター)1977(昭和52)年
- ・「21世紀を拓くハイテク時代」(東京国際貿易センター)1986(昭和61)年
- ・「新時代を創造する生産加工・システム技術」(インテックス大阪)1988(昭和63)年
- ・「未来を想像する新しい溶接・接合・材料加工技術」(幕張メッセ)1990(平成2)年
- ・「地球にやさしい溶接・接合技術」(幕張メッセ)1994(平成6)年
- ・「国際化新時代の溶接・接合技術」(インテックス大阪)1996(平成8)年
- ・「品質をつなぐ世界の溶接・接合技術」(東京ビッグサイト)1998(平成10)年
- ・「21世紀の扉を開く溶接・接合技術」(インテックス大阪)2000(平成12)年

これらを一括して見ますと、日本溶接協会の50年の歩みが手にとるように理解できます。初期には溶接機を展示し、実演することに意義がありました。それが造船業や非破壊検査技術との共催の総合展示会も経験し、次第に明確なテーマとともに発展してきております。テーマの変遷にも興味深いものがあります。まさに、日本の産業の進歩そのものを実現しているといっても過言ではありません。

開催場所を見ても歴史を感じさせてくれます。初期には、運輸省技術研究所をお借りした時代から、東京・大阪における大見本市会場における開催など、溶接協会の発展には目を見張るものがあります。

さて、私ども社団法人溶接学会は、大学・中立機関および企業の研究者・技術者など個人のsocietyであるのに対して、社団法人日本溶接協会は、溶接・接合に関連した企業・団体からなるsocietyであり、その活動は部会委員会・研究委員会のほか、溶接技術者および技能者に対する教育・認証など、広く我が国の溶接・接合技術の発展と普及に尽力されてきております。

どうか、日本溶接協会がこの50年間に蓄積された貴重な経験を踏まえて、我が国溶接工業の一層の発展のためにますます指導力を発揮されますことを期待いたしまして祝詞とします。



社団法人 溶接学会
会長 野本 敏治

From A B M BRAITHWAITE OBE
Chief Executive

Our ref: ABMB/VJG/7447.99

24 June 1999

Mr Naomichi Mori
Managing Director
**THE JAPAN WELDING
ENGINEERING SOCIETY**
1-11 Kanda Sakuma-cho
Chiyoda-ku
Tokyo
JAPAN 101-0025

Dear Mr Mori

Thank you for your letter of 9 June regarding your forthcoming 50th Anniversary.

I'm delighted to be able to provide you with a congratulatory message and this is enclosed. I have also enclosed a photograph as requested.

Yours sincerely



BEVAN BRAITHWAITE OBE
Chief Executive



TWI, Granta Park, Great Abington
Cambridge CB1 6AL
United Kingdom

Tel: +44 (0)1223 891162
Fax: +44 (0)1223 890110
E-mail: abmbraithwaite@twi.co.uk

WORLD CENTRE FOR MATERIALS JOINING TECHNOLOGY






TWI is the business name of The Welding Institute – an R&D, training and professional member organisation – a company limited by guarantee.
 Registered Number 405555 England. VAT Number GB 700 1708 89



IIW 会長
BEVAN BRAITHWAITE
OBE

It is a great pleasure for me, as both as President of the IIW and as Chief Executive of TWI, to be able to congratulate the Japan Welding Engineering Society on its 50th Anniversary.

Japan's growth over the last fifty years has been impressive and welding technology, whether applied to heavy engineering, automotive or other sectors, has played a key role in this growth.

Many important developments in welding engineering have taken place in Japan and the role of the Japan Welding Engineering Society in facilitating innovation by providing a forum to facilitate collaboration between material suppliers, equipment producers and fabricators has been very important.

The Society has also played its part in supporting the International Institute of Welding which has given other countries the opportunity to share the skills and knowledge that have been created in Japanese universities and research groups. It is significant that the Society has recently been accredited by the Japan Accreditation Body for welding qualification.

I would like to send the Society every good wish for the future, in the knowledge that the next fifty years will be as successful as the first half century.

BEVAN BRAITHWAITE OBE

日本溶接協会50周年に送られた 祝辞・メッセージ

(アルファベット順)

China Welding Association

Sincerely yours

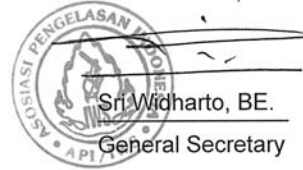
Wang Zewan



Executive Deputy President
China Welding Association

Indonesian Welding Society -IWS

Yours Sincerely,
Indonesian Welding Society
For President,



Sri Widharto, BE.
General Secretary

Sincerely,

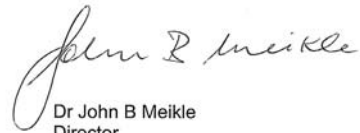
Korea Welding Industry Cooperative



Noh Sun Ryu
Executive Director

New Zealand Heavy Engineering Association

With compliments



Dr John B Meikle
Director
HERA

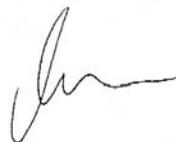
New Zealand Institute of Welding



Bob Thompson
President

Sincerely yours,

Paton Institute



Mrs. V.I.Lokteva